

2015年北海道新幹線「(仮称) 奥津軽駅」開業!

平成23年

10月号

567

- 青森県民駅伝競走大会 1
- 敬老の集い、町の話 2
- 町の話・お知らせ 3~5
- きりりこの人他 6

広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

第19回青森県民駅伝競走大会

第19回青森県民駅伝競走大会が、9月4日青森市で開催されました。「健脚でつなげ郷土の和と心」を大会スローガンに、県内40市町村を代表する320人のランナーが、8区間全長33・8キロを競い合いました。

大会当日、正午の号砲を合図に、アスパム前から一斉にスタートした各市町村の選手達は、ゴールの県総合運動公園陸

上競技場を目指して力走しました。この日の青森市内は、最高気温が34・4度で、真夏並みの気温と、照りつける日差しの中、選手達は次の選手へタスキをつなげるために懸命に走り続けました。今別町は、総合で40位という結果でしたが、選手達からは勇気と感動をもらいました。



1区 一般男子 綿谷智明選手



2区 中学男子 五十嵐宏樹選手



3区 一般男子 植松裕基選手



4区 一般男子 下山祐生選手



5区 中学女子 杉谷友梨選手



6区 一般男子 大川智哉選手



7区 一般女子 小野智美選手



8区 中学男子 嶋中翼選手



チーム役員・選手の皆様、感動をありがとうございました！



3区の植松選手から4区の下山選手にタスキが渡る瞬間



郷土の誇りを胸にいざスタート

道の駅アスクルで NHKラジオ生収録

9月22日、道の駅「アスクル」前にいて、NHKのラジオ放送番組「ここはふるさと旅するラジオ」の生放送公開収録が行われました。

収録には、津軽鉄道道の澤田長二郎社長のほか、当町からは道の駅アスクルから番頭の田中祥一さん、駅長の田中玲子さん、いまべつ秋まつり実行委員会委員長の澤田田鶴子さんがゲスト出演しました。



収録には観客も集まりました



いまべつ秋まつりの宣伝をする澤田さん(中央)



最後は出演者全員で記念撮影

番組では、2015年の(仮称)奥津軽駅の開業に向け、隣接する道の駅アスクルのほか、いまべつ秋まつりのPRを行いました。アスクルのPRの場面では、アナウンサーが今別の特産品「もずくうどん」を試食し、「ツルツルとした食感でノド越しが良く、とてもおいしい」と絶賛でした。出演者は、全国に生放送されるという大舞台に緊張しながらも、しっかりと口調で今別をPRしました。

いつまでも健康で長生きできますように

9月27日、開発センターにおいて、「生きがい健康づくりと敬老の集い」が開催されました。小鹿町長のあいさつに続いて、敬老の集い部門の表彰が行われました。その後、保健協力委員による健康劇や、町保健師の講演が行われ、アトラクションとして、今別

保育園の園児による遊戯、老人クラブによる舞踊が披露されました。参加者からは拍手や笑い声が飛び交い、会場は和やかな雰囲気になりました。



金婚者（婚姻50年）
 ◎今別 小鹿清正
 ◎村元 小鹿和男
 ◎巽月 小鹿勝廣
 ◎巽月 石澤忠



園児の遊戯に顔もほころびます



米寿の表彰を受ける川口さん



金婚式を迎えた境谷さん夫婦

今別町長寿者番付表

《男性部門》 H23.9.1現在

順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	田中久次郎	98	大川平
2	吉田太助	97	大泊
3	小鹿麓二郎	95	今別
3	梅田清二	95	西田
5	佐藤忠衛	92	大川平

《女性部門》

順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	藤巻コヨ	104	砂ヶ森
2	相内たき	100	二股
3	木村ヒサ	98	今別
4	田中るい	97	綱不知
5	川村やな	96	西田
5	鈴木ツセ	96	なかやま荘
5	嶋中ミキ	96	大川平

白寿者（99歳）1名 ◎大川平 田中久次郎

米寿者（88歳）35名
 ◎今別 中田堂大小梅南菊其佐小猪ノ戸澁木澁新
 ちる香ハルナ子ト愛正國さ徳テ喜益ヤ
 そるエリな次子子徳榮だ一ル郎雄エ
 ◎村元 戸山内内地山中藤鹿中鹿中川田谷倉口畑上
 ◎鍋田 戸小相菊平嶋佐小嶋小嶋村成米小川高最
 ◎大川平
 ◎二股 股崎泊月森
 ◎山崎 山崎泊月森
 ◎大巽 大巽泊月森
 ◎砂ヶ 砂ヶ森
 ◎奥平部

◎西田新

宝くじの助成金で地域の交流を活性化!!



地域住民の憩いのひととき

大川平荒馬保存会では、平成23年度のコミュニティ助成事業で、荒馬・ねぶた用の半纏や提灯、プロジェクトやスクリーンを整備しました。提灯は地域に飾り付けられ、まつりの雰囲気を一層盛り上げ、新しい半纏で心機一転、今年のねぶた・荒馬合同運行を行いました。



新しい半纏に身を包み、力一杯の踊りを披露

9月10日、村元地区では、毎年恒例の秋まつりを地区会館前で開催しました。今年の秋まつりは、平成23年度のコミュニティ助成事業で整備された提灯やテント、発電機や調理機器を使って行われ、地域住民の交流を深めるものとなりました。今後も、地区内で行われる行事に使用され、大活躍しそうです。

芸術鑑賞の舞台に今中生が出演

8月29日、今別中学校体育館において、東京の民話芸術団の皆さんによる芸術鑑賞が開催され、舞台「雨降り小僧」が公演されました。公演には、中村麗菜さん（今別中2年生）が出演し、主人公の娘役として立派な演技を見せられました。



舞台上で堂々と演技をした中村麗菜さん（左）

義援金が寄せられました

8月29日、今別ねぶた実行委員会・今別荒馬保存会を代表して、阿部節三さんから東日本大震災の義援金として、5万円の寄付が寄せられました。



小鹿町長に義援金を手渡す阿部さん（右）

合同収穫祭

8月26日、体験農園で青北今別校舎と今別保育園が合同で、ジャガイモの収穫祭を行いました。今年の5月に青北今別校舎生徒が種イモを植え、収穫までの間には、今別保育園の園児も合同で草取りを行ったり、お互いが育て上げたジャガイモを一緒に収穫しました。



いっぱい採れたよ!!



みんなで食べるとおいしいね

「サロン・ほっとケーキ」 開催中!!

今別保育園・子育て支援センター・ひまわり子供館の共同開催で、サロン・ほっとケーキが開催されています。サロン・ほっとケーキは、子育て支援の一環で子供を持つお母さん方の情報交換の場となっています。毎月開催されていますので、どなたでもお気軽に参加して下さい。

◎時間 10:00~15:00まで

◎場所 今別町中央公民館 和室

《問合せ先》

今別町子育てサポートセンター

(今別町教育委員会内)

TEL 35-2157

開催予定日

10月20日

11月24日

12月15日

1月26日

2月16日



今別小と 北海道知内小の交流

今別小学校と北海道知内小学校が毎年行っている交流会が、9月2日、今別小学校の体育館で行われました。

両校児童たちは初めに、自己紹介と自分の町についての紹介を行い、今別小は荒馬を、知内小はよさこいを披露しました。

その後、自分たちで作った名刺を交換し、打ち解けたあと、金魚ねぶたの色づけと一緒にゲームをしました。

その他、ゲームをしたり、一緒に昼食を食べたりして、両校の交流を深めました。



お互いの町を知ってもらうために、それぞれ町の紹介をして交流を深めました。



上手に色づけできたかな?



名刺の交換でちょっと大人の気分!

陸上自衛隊・海上保安部の 活動に感動!

今別町婦人防火クラブ視察研修

今別町婦人防火クラブ(間山ちよ会長)では、9月7日に自衛隊青森駐屯地と、青森海上保安部を視察研修しました。

青森駐屯地では、青森歩兵第五連隊部隊兵舎を移築した資料館を見学し、歴史的に有名な、八甲田雪中行軍の写真や資料を見て、当時の様子を思い浮かべました。

昼食も自衛隊員と同じものを頂き、身体が資本である隊員にとって重要な、ボリュームと栄養のバランスがとれた食事に納得しました。

青森海上保安部では、巡視船「おいらせ」の艦内で、艦の機能、装備の説明を受け、その後海上保安部の業務について説明を受けました。

陸上自衛隊、海上保安部については、先の東日本大震災における行方不明者の捜索及び支援活動に参加し、悲惨な現地の状況の話を聞くと、思わず涙がこぼれそうになる場面もあつたようです。

今回参加した

婦人防火クラブ

の皆さんは、自

衛隊、海上保安

庁の活動に非常

に感動し、日頃

日本を支えてく

れていることに

感謝して研修日

程を終了しまし

た。



戦車をバックに、自衛隊員と記念写真

(((今別町職員採用試験のお知らせ)))

1. 区分、職種等

募集職種	採用予定人員	採用予定日
今別町診療所・看護師	1名	平成24年4月1日

2. 受験資格

昭和37年4月1日以降に生まれた者で、准看護師以上の資格を有し、5年以上の経験がある者

3. 試験日時・会場等

試験区分	試験日	試験会場	可否の発表時期及び方法
面接試験	11月20日(日)	今別町内 (後日通知)	12月25日までに受験者全員に郵送にて通知

4. 申込み手続き等

(1) 申込み方法

- ① 今別町職員採用試験受験申込書
 - ② 看護師又は准看護師免許の写し
 - ③ 写真(4cm×3cm)2枚(うち1枚は申込書に貼付)を添えて、持参又は郵送により提出して下さい。
- ※ ①の申込書は、今別町総務課総務担当に備えつけてあります。直接か郵便による請求のほか、今別町のホームページか

らもダウンロードできます。なお、郵便による請求の場合は、80円切手を貼付し、住所、氏名を記載した返信用封筒を同封して下さい。

(2) 受付期間及び場所

- ① 受付期間 平成23年10月6日(木)から10月21日(金)までの土・日・祝日を除く日(午前8時15分から午後5時まで)
- ※ 郵送の場合は、10月21日(金)までの消印のあるもの
- ② 受付場所 今別町役場総務課総務担当
- ※ 郵送の場合は、封筒表面に「採用試験申込書在中」と表示し、簡易書留で送付すること。

6. 採用条件等

- (1) 給与及び諸手当 ⇒ 町条例・規則等による
- (2) 勤務条件及び休暇 ⇒ 町条例・規則等による

☆詳しくはホームページをご覧ください。

《問い合わせ先・郵送先》

今別町役場 総務課 総務担当

〒030-1502 東津軽郡今別町大字今別字今別167

TEL: 0174-35-2001 FAX: 0174-35-2298

ホームページアドレス

<http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

《青森県民カレッジ 地域キャンパス講座》

「体験者が語るガン懺悔」

11月9日(水) 10:00～11:40

今別町中央公民館にて

【講師】 東青学友会 工藤 孝 氏

ガンについて、自らの体験談を交えた講義内容となっています。多くの方々の参加をお待ちしています。

受講希望者は、今別町教育委員会へ電話でお申し込みください。

問合せ先：今別町教育委員会 0174-35-2157

青森県稲わら有効活用の促進・焼却防止条例

わら焼きはみんなの迷惑！
絶対にやめましょう！



東日本大震災、福島第一原発事故に伴い、これまで以上に安全な農畜産物や稲わらなどの確保が求められています。

地域の稲わらは、貴重な資源です。堆肥やすき込み、家畜の飼料などに有効に使いましょう。

東青地域県民局地域農林水産部・今別町・青森農協今別支店

巡回相談のお知らせ

東地方福祉事務所では、配偶者暴力相談センター（DVセンター）として、身体的・精神的な暴力や離婚など様々な悩みについて、電話や来所による相談を行っています。

今回、面談による相談をより多くの方が利用できるよう、婦人相談員が月1回地域に出向いて巡回相談を実施することになりました。

みなさんのお近くの相談会場、開催日時は次の通りです。

開催場所 今別町開発センター
開催日時 10月11日(火)、11月8日(火)、12月13日(火)、
1月17日(火)、2月14日(火)
開催時間 午後1時～午後3時

相談を希望される方は当日直接会場にお越し下さい。また、事前に電話等で予約いただくことも可能です。

詳しくは下記に電話またはメールで紹介ください。

問合せ先：東地方福祉事務所
(東青地域県民局地域健康福祉部福祉総室)
電話 017-734-9951
メールアドレス HI-FUKUSHI@pref.aomori.lg.jp

◆年金についてのお知らせ◆

国民年金の第1号被保険者として保険料を納めた月数が36月以上ある被保険者が、老齢・障害基礎年金のいずれも受けないまま死亡したとき、死亡者と生計を同一にしていた遺族に支給されます。

ただし、その方の死亡により遺族基礎年金を受けられる遺族がいる場合には支給されません。請求できる遺族の範囲・順位は、死亡者の配偶者・子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹です。

死亡一時金の額は、保険料を納めた月数に応じて決まっています(120,000円～320,000円)。なお、付加保険料を納めた期間が36月以上ある場合は、さらに8,500円が加算されます。

月数の計算
全額納付月数 + (4分の1納付月数) × 1/4 + (半額納付月数) × 1/2 + (4分の3納付月数) × 3/4

《問合せ先》ねんきんダイヤル 0570-05-1165
(平日8:30～17:15)
IP電話・PHSからは 03-6700-1165

こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

ロコモを予防！～その1～

☆ロコモをご存じですか??☆

ロコモとは、骨や関節、筋肉などの「運動器」が衰え、介護が必要になったり、そうなる危険性が高くなった状態のことです。

～ロコチェック!!～ あなたは何個当てはまりますか？



①家の中でつまづいたり、滑ったりする。



②横断歩道を青信号で渡りきれない。



③階段を上るのに手すりが必要である。



④15分くらい続けて歩けない。



⑤2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難



⑥片足立ちで靴下がはけない。



⑦家のやや重い仕事が困難。(布団の上げ下ろし)

1つでも当てはまれば、ロコモである心配があります!!

ひとつ以上当てはまった方は、トレーニング(ロコトレ)が必要です。ロコトレの具体的な方法については、来月号に続きます...

ロコモを予防する生活習慣

体をよく動かす習慣のある人は、ロコモになりにくい傾向があります。特にスポーツをしていなくても、階段をよく使う、車を使わずよく歩く、家事でもよく体を使う・・・といった人です。

食事でもロコモ予防には重要です。骨を丈夫にするため、右の栄養素、食物を積極的にとりましょう。

カルシウム

・牛乳、乳製品など

ビタミンD

(カルシウムの吸収を高める)
・魚など

ビタミンK(骨の質を高める)

・小松菜、納豆、にら



日本脳炎の予防接種についてのお知らせ

- 日本脳炎の予防接種後に重い病気となった事例があったことをきっかけに国の方針として平成17年度から平成21年度まで、日本脳炎の予防接種の案内を行いました。
- その後、新しいワクチンが開発され、現在は日本脳炎の予防接種を通常通り受けられるようになりました。
- 平成17～21年度の間定期予防接種の機会を逃した方々には、平成23年度から順次接種のご案内を行っています。(今年度は小学3年生・4年生が対象です。それ以下の年齢のお子様には次年度以降順次ご案内を行います。)
- ご案内の対象になっていない場合でも、平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれで、1期(通常は3歳で2回、4歳で1回)・2期(通常は9歳で1回)の接種が終わっていないお子様は、20歳未満までは、日本脳炎の定期予防接種を受けることができます。
- 予防接種を希望する方は、母子健康手帳をご確認の上、下記までお問い合わせ下さい。

《問合せ先》今別町役場 町民福祉課 保健師 TEL 35-3004

■ あなたも里親になりませんか ■

自分の家庭で、親の愛情に包まれて暮らすことができない子どもたち、自分の家族を知らない子どもたちがいます。

このような子どもをご自分の家庭に迎え入れて、一定期間、温かい愛情と誠意を持って養育する方を「里親」といいます。

こうした子どもたちが、温かい愛情に包まれて暮らせるよう、里親になってくださる方を求めています。

あなたも里親となって、子どもたちを育ててみませんか？

里親には、養育里親、親族里親、専門里親、養子縁組を希望するものの4つの種類があります。

子どもを養育している間は、里親手当、子どもの生活費や教育費などが支給されます。

※里親になりたい方は児童相談所にご相談ください。里親制度や申請の手続きについて詳しくご説明いたします。

※里親になることを申請されますと、一定の研修を受講していただくと共に、児童相談所において生活状況等の調査を行い、青森県社会福祉審議会の審査を経て、県知事が里親として認定します。

《問合せ先》

〒038-0003 青森市石江字江渡5-1

青森県中央児童相談所 子ども相談課 017-781-9744

行政相談・人権擁護相談所を開設します

10月17日（月）から23日（日）は『行政相談週間』です。この週間に、次のとおり『行政相談・人権擁護相談所』を開設します。

町民の皆様が、毎日の暮らしの中で、役所が行う仕事（例えば、道路・河川、年金、医療保険、老人福祉、登記、労働基準、雇用保険、自動車検査・登録、窓口サービスなど）について、苦情や意見・要望などがある時には、お気軽にご相談下さい。

なお、相談は無料で、相談者の秘密は厳守します。

日 時：10月21日（金）午前10時～午後3時

場 所：今別町中央公民館 集会室

《問合せ先》・今別町 総務課 TEL 35-2001

・青森行政評価事務所行政相談課

TEL 017-734-3354

● 年末調整説明会のお知らせ ●

青森税務署では、平成23年分の年末調整関係事務の説明会を下記の日程等により開催いたします。

開催月日	受付開始時間	説明会 開始・終了時間	会場
11月16日(水)	9時30分	10時00分～ 12時00分	青森市民ホール 青森市柳川1-2-14 電話017-722-3770
	13時00分	13時30分～ 15時30分	
11月17日(木)	9時30分	10時00分～ 12時00分	
	13時00分	13時30分～ 15時30分	

・年末調整関係書類に不足がある場合は、説明会場及び青森税務署で配布いたします。

・会場駐車場は用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

・個人事業者の決算説明会（年末調整関係事務の説明も含む。）は別途開催されます。

《問合せ先》青森税務署 法人課税第一部門（源泉所得税担当）

電話 017-776-4241（代表）

※このお知らせに関する電話でのお問い合わせは、音声案内メッセージに従い、「2」番（当税務署にご用の方）を選択してください。

「女性の人権ホットライン」 強化週間について

法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会が全国一斉に相談日を設け、「女性の人権ホットライン」を通じて、女性の人権を巡る様々な問題についての相談に応じます。

日 時 11月14日（月）～11月20日（日）までの7日間

時 間 午前8時30分から午後7時00分まで

土曜日、日曜日は午前10時から午後5時まで

電 話 0570-070-810（ゼロナナゼロのホットライン）

内 容 職場における差別、夫・親子・パートナーからの暴力、セクシャルハラスメント、ストーカー行為など、女性に対するあらゆる人権侵害についての相談に応じます。

《問合せ先》

青森地方方法務局人権擁護課 TEL 017-776-9024

▶▶▶▶ 児童扶養手当・特別児童扶養手当について ◀◀◀◀

【児童扶養手当】

この制度は、父または母と生計を同じくしていない児童が育成されている家庭生活の安定と自立の促進を通じて、児童の福祉を増進する福祉制度です。

～支給対象～

何らかの理由により、父または母と生計を同じくしていない児童を養育している場合や、父または母が心身に障害がある場合に、その児童を養育している父または母（または養育者）に対して児童扶養手当が支給されます。なお、児童が18歳に年度末までが手当の支給の対象となります。児童が政令で定める障害を有するときには、児童が20歳に達するまで支給されます。（所得により手当額が決まっており、全部停止もあります。）

ただし、児童が施設に入所したり、父または母（または養育者）、もしくは児童が国民年金（老齢福祉年金を除く）、厚生年金、恩給などの公的資金を受けているときは支給されません。

～手当額～（平成23年4月現在）

・全部支給 月額41,550円

・一部支給 所得額に応じて月額41,540～9,810円（10円きざみ）

※第2子加算 月額5,000円（全部支給、一時支給共通）

※第3子以降加算 一人につき月額3,000円（全部支給、一部支給共通）

【特別児童扶養手当】

この制度は、精神や身体に障害を有する児童が、両親の愛情に育れながら、両親と共に生活することがその福祉につながるものであるとの考え方から、家庭にあって監護、養育されている障害児を対象として在宅福祉施策の一環として実施されています。

～支給対象～

身体障害者手帳の、おおむね2級以上の認定を受けている20歳未満の児童を養育している方及び同等以上の障害があると認められている方、または、療育手帳のB判定以上の認定を受けている20歳未満の児童を養育している方に支給されます。（所得制限限度額があり、所得により受給できないときもあります。）

ただし、児童施設入所施設等に入所しているとき、障害を支給事由とする年金を受けているときは支給されません。

～手当額～（平成23年4月現在）

・障害の程度が1級の場合 月額 50,550円

・障害の程度が2級の場合 月額 33,670円

《問合せ先》 町民福祉課 福祉担当 TEL 35-3004

イマダス

まちの行事予定

(10/1~11/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

10/2(日)	・今別小学校学習発表会《今別小学校》	教育
10/9(日)	・いまべつ秋まつり《開発センター》	産業教育
11(火)	・DV巡回相談	福祉
16(日)	・今中祭《今別中学校》	教育
20(木)	・第3回キクの会	社福
21(金)	・行政・人権相談《中央公民館》	総務
22(土)	・今高祭(ねぶた運行)	青北別校舎
23(日)	・今高祭(一般公開)	青北別校舎
	・集団検診《開発センター》	福祉
31(月)	・後期高齢者医療保険料第4納期限	町民
	・固定資産税第3期納期限	税務
	・国民健康保険税第3期納期限	税務
11/1(火)	・就学時健康診断《今別小学校》	教育
	・乳幼児健診・フッ素歯面塗布	福祉
2(水)	・介護保険料第3期納期限	福祉
	・介護保険料第3期納期限	福祉

いまべつ秋まつり開催

日時 平成23年10月9日(日)
午前9時から午後2時30分まで

場所 今別町開発センター

【予定される主なイベント時間】

- ・今別牛特売 9:30~
- ・黒石八郎ショータイム 11:20~
- ・大抽選会1回目 12:50~
- ・マグロ解体ショー 13:20~
- ・大抽選会2回目 14:00~

※ 上記の他、牛鍋試食会(先着200名)、中学生の荒馬、よさこい、文化団体作品展示などたくさんの催しが予定されています。

《問合せ先》いまべつ秋まつり実行委員会
今別町教育委員会 35-2157
役場 産業担当 35-3005

町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」
①氏名 ②地区名 ③将来の夢



- ① 嶋中あすか
- ② 西田
- ③ 保育士

わたしの夏休みの思い出は、部活です。

防犯球技大会では、1回戦で去年優勝した三厩と当たり、惜しくも負けてしまいました。でも、残りの試合は全勝することができました。優勝はできなかったけど、とてもよい大会になったと思います。大会はもう1つあるので、優勝という大きな目標に向かって、これからも努力していきたいと思っています。

きこりの人 17

小鹿良輔さん (今別 28歳)



「いつも笑顔で明るく親切に対応します」と、まぶしいくらい笑顔

3年前に実家の「モリピアあさひ」の事業を継ぐために里帰りした小鹿良輔さんは、毎日「お客様のために」と、町中を駆け回っています。

良輔さんは拓殖大学を卒業後、一般企業に勤め、その後松下幸之助商学院で1年間「商い」について学びました。今別に戻ってからは、ほとんど休みのない忙しい日々が続きましたが、それでも楽しく仕事ができて充実した毎日が過ごせそうです。

良輔さんは以前、ホームセンターで働いた経験があり、その時と比べて、「今は、自分にお客さんが付くということを実感し、良い意味で責任感が生まれるので、個々のお客様に対して行き届いたサービスの提供ができる」と意欲を燃やしています。

また、自分の仕事のほかにも商工会青年部の活動にも参加していて、春まつりや荒馬まつりでは、たこ焼き屋を出店し、行列ができるほどの盛況ぶりでした。

最後に良輔さんは、「今別町は過疎が進み、若い世代が少なくなっているが、両親と生まれ育った故郷のために、責任感と使命感を持っていきいきと仕事したい。そして、商工会青年部の活動等で町を活性化して、今別町を支える力の一つになりたい」と心強い言葉を語ってくれました。



商工会青年部のみんなとたこ焼きを作る良輔さん(左から2人目)

今別町内水面漁業協同組合からのお知らせ

アユ、溪流魚(イワナ、ヤマメなど)の遊漁期間は9月30日までとなっています。それ以降は産卵のため、釣りは禁止ですが、ヤツメウナギも絶滅の危機にあり、禁漁となっています。また、マスをはじめ、これから遡上するサケや、降海する銀毛ヤマメ(成育するとサクラマス)の漁獲も違法です。

パトロール等も行われておりますが、資源保護のためご協力ください。

《問合せ先》今別町内水面漁業協同組合 組合長 澤田 瑞穂
TEL 35-2033

編集後記

9月のある日、私は、企画の某次長にお供して、蜂の巣駆除に向かいました。

場所は、いこいの家(旧保育所)。到着すると、軒先に垂れ下がる、茶色い丸い巣がすく目付きました。大きさはバスケットボール大くらいあり、スズメバチの巣でした。

作業は次長が行いしましたが(私は初めてなので、今回は補助&見学)、その日の私の服装は真っ黒なポロシャツと、ハチを相手にするには最悪な格好(ハチは黒いものに寄ってくる習性があります)。というわけで、30メートルくらい離れたところから観察してました。

いざ、駆除するとなると、防護服に身を包み、網を片手に、駆除用のスプレーを携帯して、さあ開始!網を近づけると、ハチもすでに臨戦態勢。次々に巣から飛び出して反撃に出てきます。それにもかまわず、淡々と巣を網に入れようとす次長。さすがに歴戦の猛者です。しかし、ここでアクシデント!あまりの大きさに、網に入らない!そうこうしている間にもハチは攻撃中。それでも次長は、スプレーを振りかざしながらも、冷静に巣を崩し始めます。網に収め切ると、ダメ押しのスプレー噴射で駆除完了。

一連の行動にあっけにとられている間に作業終了。「次からはよろしく頼むよ」と言われても、そんなに簡単にできるものではない...

とりあえずチャレンジはしてみようと思っているが、自信は無いなあ。なるようになるさ! (でも、ちょっと投げやり気味)

以上、貴重な体験の報告でした。

(広報担当 奥崎 匠)

戸籍の窓口

(8月1日から31日までの届出分)



お胸やみ申し上げます

相内昭三(82)	大川平
成田義行(67)	浜名
小鹿豊明(85)	西田
平山つる(83)	大川平
勝野亥一(76)	今別

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課町民担当へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。

今別の姿

(平成23年8月31日現在)

面積	125.28km ²
人口	3,382人(-4)
男	1,575人(-3)
女	1,807人(-1)
世帯数	1,574(+1)
	()内は前月比